

学問に意欲いよくをもやす健次郎は、友人数名と、あくまで東京に残つて勉強しようしよと決心し、会津にいるころからの知り合ひであつた、沼間守一ぬまもりいちの塾じゅくに入門することになつた。健次郎は、この塾で、年下の者に英語のABCを教えたりもした。

沼間の世話で食事の不自由はなくなつたが、本を買う金などはもちろんなかつた。そこで、他の塾生の本を借りて、みんなが遊んでいる間に写うつし取つてまにあわせた。学問をしたい一心の健次郎にとって、これくらいくらいのことは苦しみとは感じられなかつた。勉強できることだけが喜びだつた。

はじめての算数

沼間塾ぬまで、健次郎は生まれてはじめて算数の勉強をした。十七歳のときであ